飯舘村における原子力災害

福島県飯舘村　菅　野　宗　夫

飯舘村の立地

福島県の北東部

阿武隈山系の北端

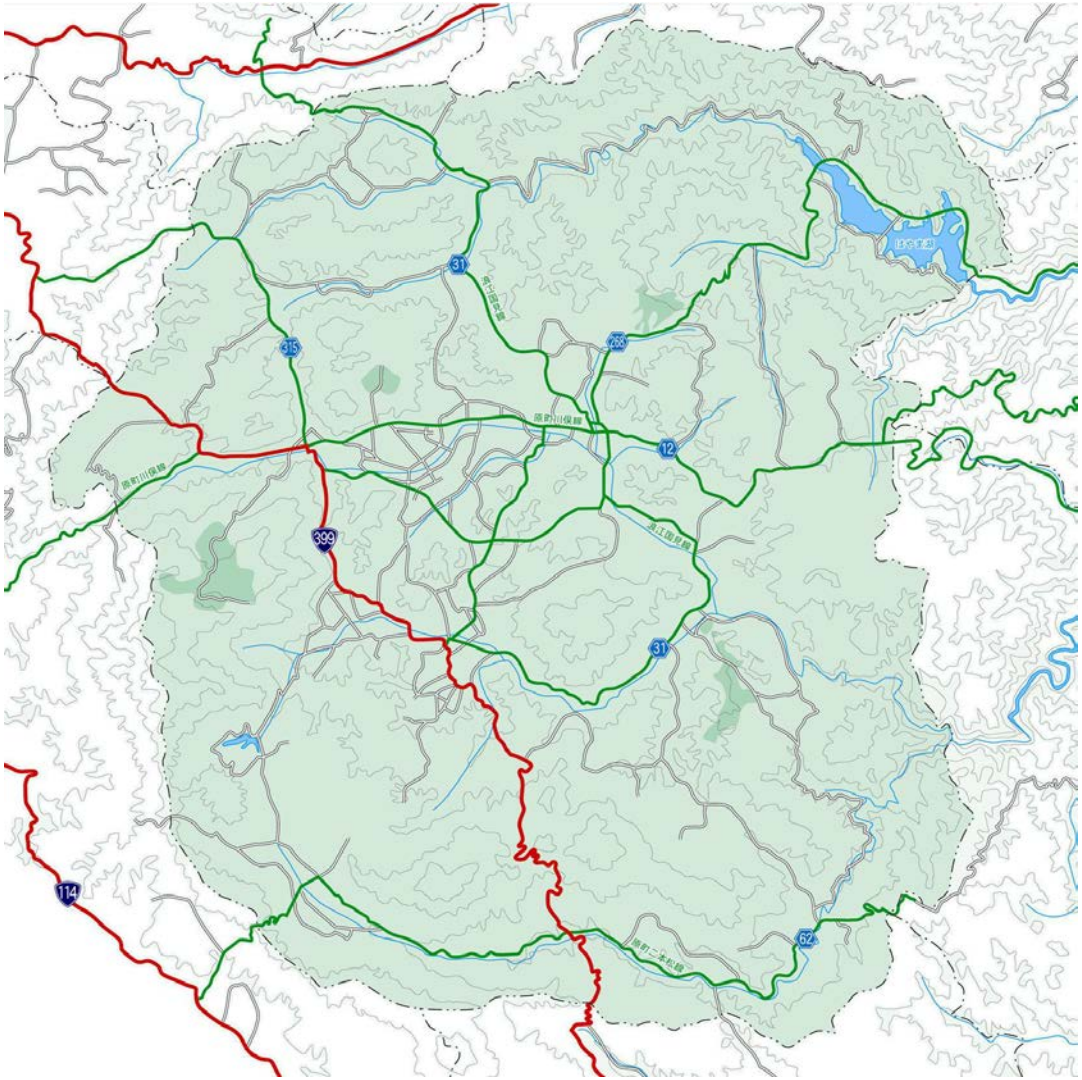
東京都心からの距離300km

飯舘村の立地

- 面積　230. 13km²
  東西　15. 2km
  南北　16. 8km

- 阿武隈山系の高原

- 標高220～600m夏は涼しく、冬は降雪は少ないものの寒さが厳しい地域



飯舘村の人口・世帯数

H22年4月1日

人　　口	6，588人（住基人口）
15歳未満	800人
65歳以上	1，904人
世帯数	1，707世帯
高齢化率	28．9％

農業基盤　飯舘牛が特産

・米、畜産、高原野菜、花卉などの複合経営

・和牛飼養頭数
　2500頭

・田畑　2500ha

・採草放牧地
　1970ha

震災の被害

東日本大震災の被害

震度6強

家屋倒壊0件

瓦の崩落　約500件

震災の被害

道路の損壊
　　93か所

震災の被害

落石3か所

震災の被害

農地の崩落
　　２５か所

震災の被害

地震発生直後に
災害対策本部を
設置

電気、電話、水道
のライフラインが
断絶

情報も断たれ不安
な生活へ

福島第1原発事故発生

３月１２日、福島第１原発１号機が水素爆発

原発周辺の市町村からの避難者のため避難所を設置

ガソリンの供給もストップ

福島第1原発事故発生

村内3つの小学校
に避難所を開設

避難民受け入れ
　１５００人規模に

電気の復旧に伴い
情報も入り、放射線
への不安が高まる

福島第1原発事故発生

避難所の誘導にあたる消防団員

福島第1原発事故発生

炊き出しに当たる
婦人会員

福島第1原発事故発生

ガソリンを求める長蛇の列

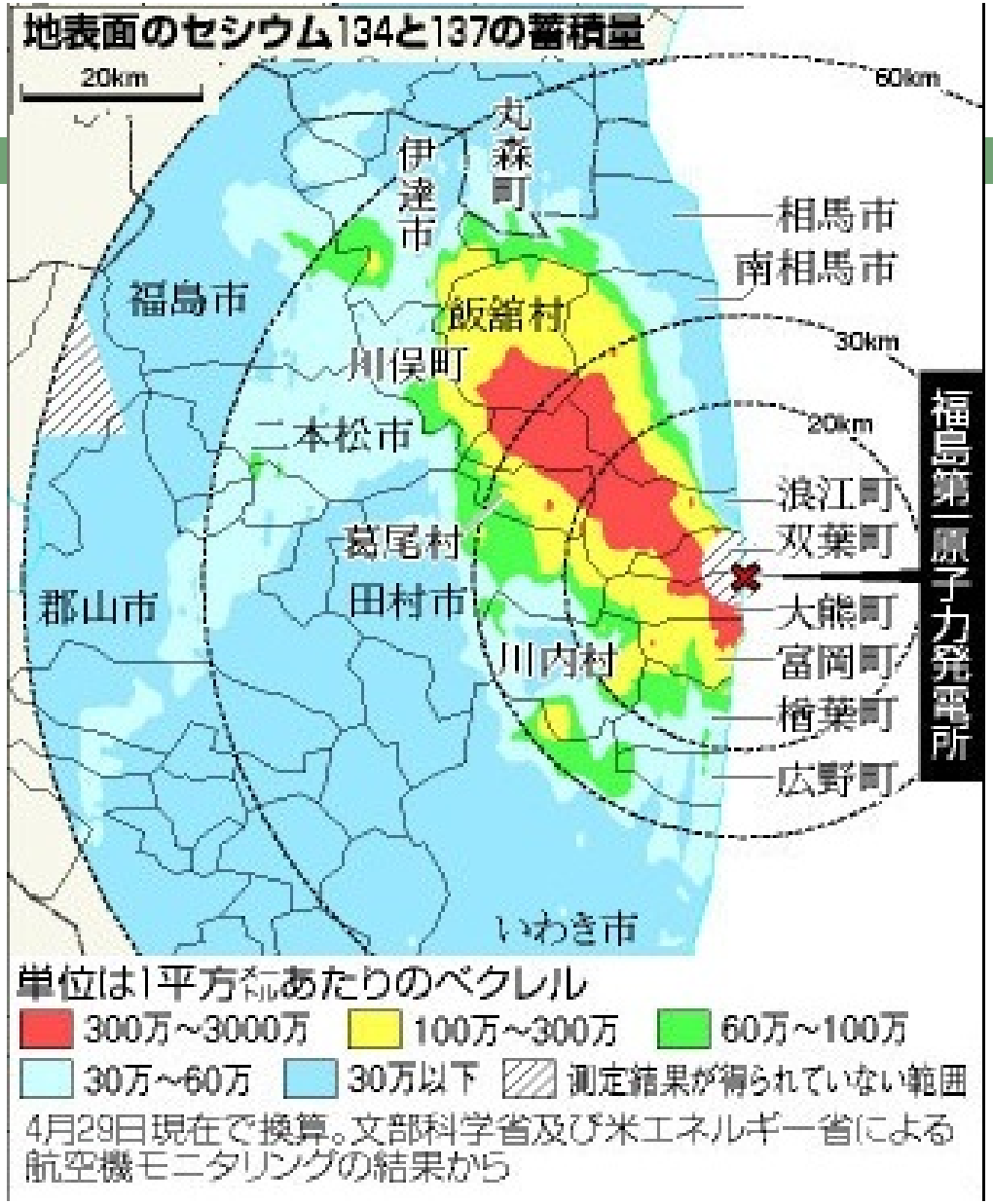
非常用給油カードを村民に発行

放射性物質の蓄積

３月１５日、福島原発3号機が水素爆発

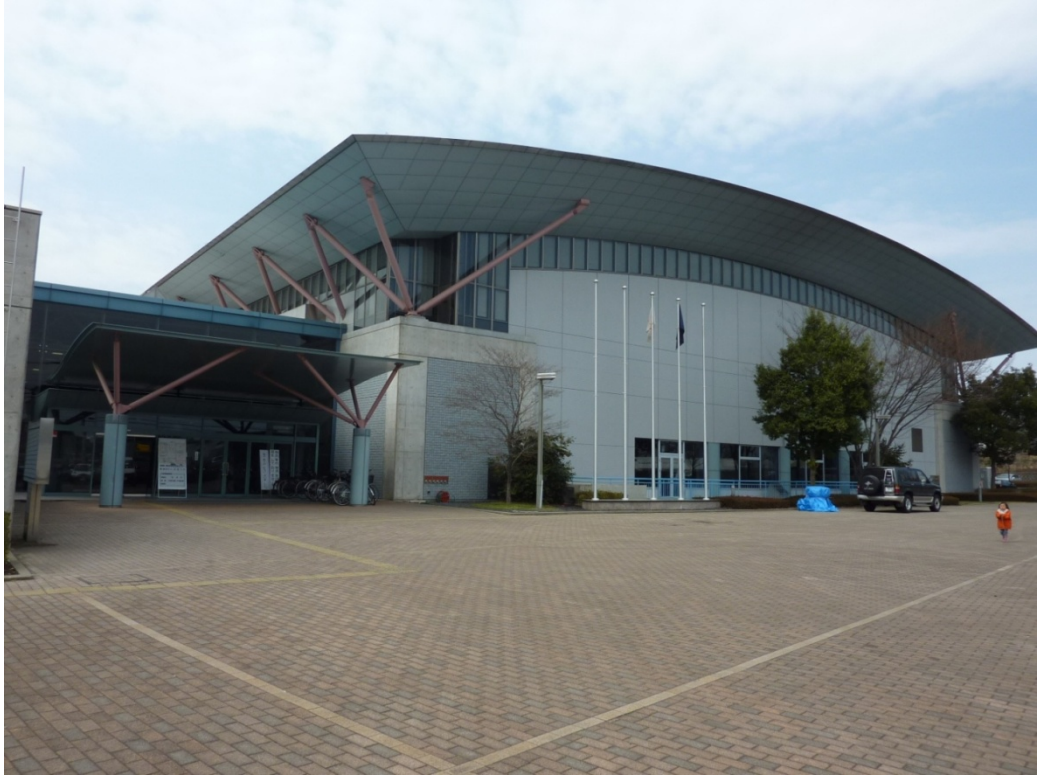
東南の風と雨・雪により飯舘村に放射性物質が降り注ぐ

午後6時、役場の放射線計が毎時44.7μSVを観測



緊急避難の開始

栃木県鹿沼市総合体育館への集団避難



緊急避難の開始

500人が避難
（4月30日まで）

村内での避難所閉鎖

自主避難の動きも活発になる

給水制限

３月２１日、水道から基準値を超え
る放射性物質を検出

摂取制限に伴い、全戸にペットボトルの水を配布

自衛隊から給水の協力を受ける

放射線と健康に関する講演

村民・PTAを対象に放射線に関する講演会を開催

苦悩する村民

国の報告と矛盾する
IAEAの発表

メディアの情報、国の
見解に戸惑う村民

放射性物質

飯舘の土壌 基準値超え

IAEA「避難指示に相当」

【ベルリン時事】国際原子力機関（IAEA）は三十日、東日本大震災で事故を起こした東京電力福島第一原発から約四十キロ北西の飯舘村で、IAEAの避難基準を超す高いレベルの放射性物質が検出されたとして、日本政府に避難地域の見直しを暗に促した。日本側は避難の必要はないとの立場だが、IAEAの指摘は議論を招きそうだ。

IAEAによると、三月十八日から二十六日にかけ、第一原発から二十五～五十八キロの九自治体で採取した土壌サンプルに含まれるヨウ素131とセシウム137の量を測定した結果、飯舘村で一平方メートル当たり二〇〇万ベクレルを検出した。これはIAEAが定める避難指示基準の二倍に相当するという。

IAEAは「あくまで初期の評価」と強調しつつも、日本政府に対して慎重に状況を評価するよう伝えた。日本政府は同原発の二十キロ圏内を避難地域に、また二十～三十キロ圏を屋内退避地域に指定しているが、IAEAは事実上、範囲の拡大を迫ったと言える。

IAEAは三十一日、第一原発から二十キロ圏内の住民に対し、屋内退避を指示した。

村長「改善策を実行」

原子力安全・保安院の平岡英次次長は三十一日、飯舘村を訪れ、「（村内の）蕨平地区の屋内退避の措置は変わることはない」と説明した。

菅野典雄村長は「避難したら村が成り立たないので体が腐る報道だったが、安心した。数値の高い土壌にどう対応するか、一つ一つ改善策を実行していく。村民にマスクの着用などの暮らし方を周知したい」と話した。

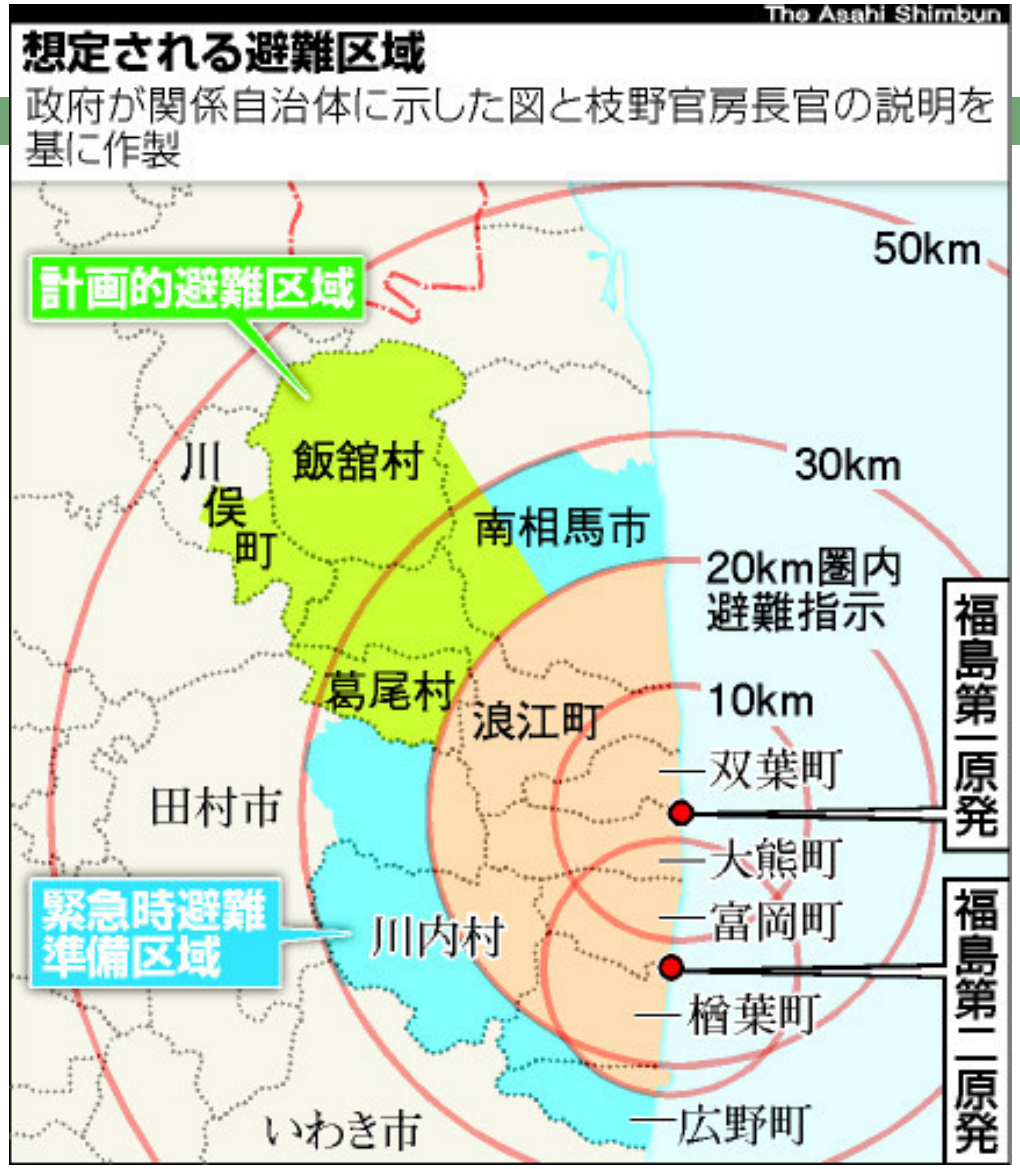
県「健康に問題ない」 政府「避難の必要なし」

県災害対策本部の荒竹宏之県生活環境部次長は「飯舘村の放射線は、健康に問題のある数値ではない」との認識を示した上で、村民の安心につなげていく上で、村内のモニタリング調査地点を増やし、放射性物質の種類（核種）を調べることを明らかにした。

政府の原子力災害現地対策本部の横田一磨統括原子力保安検査官は「現在、継続して県内の土壌、大気、水道水などを調査しており、現時点で飯舘村（の住民）が避難すべきと判断する材料はない」との見解を示した。

計画的避難区域に指定

４月１１日、国は計画的避難区域指定の方針を発表



計画的避難区域指定の説明会

４月１１日、企業に対する説明会で意向を聞く

農作物作付の自粛

４月１２日
放射性物質の土壌汚染により農作物の作付自粛を決定

議会災害対策特別委員会

計画的避難区域指定の説明会

４月１３日、１４日、１６日
計画的避難の内容について説明会を開催

述べ１８００人が参加

避難の時期・内容などを話す

計画的避難区域指定の説明会

計画的避難の内容について説明会を開催

避難の時期・企業の対応などを話す

村内での事業継続意向を確認

計画的避難区域に指定

４月２２日、村を計画的避難区域に指定

全村避難に

避難の本格化

被災証明の発行　　住み慣れた飯舘村を離れ全国へ

見舞金の現金給付

４月29日、避難の案内を兼ね一人3万円の見舞金を現金で給付

１次避難と補償仮払いの開始

４月３０日、
東電副社長が来村し、謝罪

補償金仮払いが始まる

妊婦、乳幼児の１次避難所への避難が始まる

放射線健康被害への対応

放射線のスクリーニング検査

放射線健康被害の対応

子供たちの被ばく検査

避難者への対応

県借り上げ住宅の斡旋手続き

仮設住宅への斡旋

仮設住宅への入居

福島市、伊達市、相馬市に仮設住宅を建設

教育の維持

福島市内にスクールバスを走らせ通学に対応

教育の維持

４月２２日から学校を川俣町で再開
現在、7割の児童生徒が通っている

村内継続事業所

村内での継続を認められた事業所
９事業所（８社　特養１所）　約５００人

・屋外が3．8μSv/hを大きく超えないこと
・放射線を遮蔽する建物の中で行う製造業であること
・放射線の管理を行い被爆の低減に努めること

放射線計を身につけて作業を行う

見守り隊の設置

計画避難による留守中の防犯、農業者の雇用対策

見守り隊の設置

警察との協力

牛の避難

畜産飯舘牛の避難について

繁殖牛はセリに1612頭を処分

肥育牛は食肉市場に出荷

長年にわたり築きあげてきた飯舘牛のブランドが・・・

役場の移転

６月２２日、役場機能を福島市飯野町に移転

飯舘村役場飯野出張所を開設

役場の移転

住民への対応の模様

除草作業

半年の放置で農地に雑草が繁茂

防火対策のため草刈りを実施

農地の除染

農地の除染プロジェクト

・物理的除染
　　表土のはぎ取り

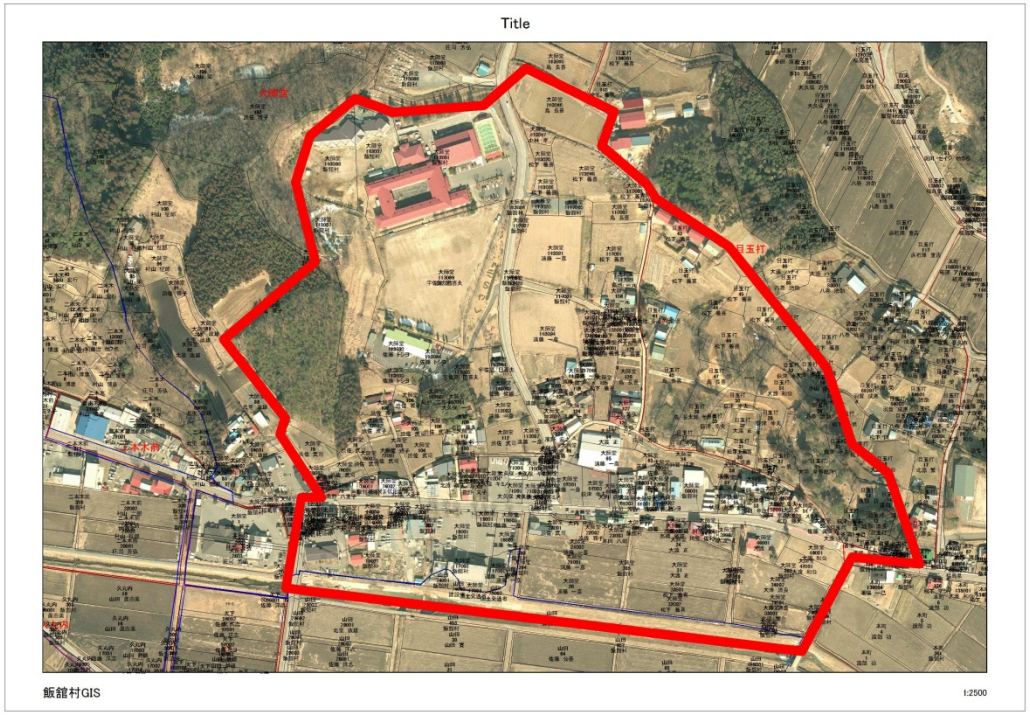
・科学的除染
　　代掻きなどで水と撹拌し、
　　ゼオライト等で吸着し除去

・生物的除染
　　ヒマワリ等セシウム吸収に
　　効果のある植物に吸収させ
　　専用焼却炉で焼却

宅地の除染

国の除染モデル事業

草野大師堂地内
400m×400mを除染



除染モデル事業地区　線量測定

8.0 7.3 6.6 6.0 5.3 4.6 3.9 3.2 2.5 1.9 1.2 0.5

復興計画

復興計画の策定

庁内検討会で骨子をまとめ
村民を交えて計画を策定中

骨子案では・・・
- ２年後までに帰村できる環境を整える
- ５年後までに農業再開の条件を整備
- １０年後までに新たな村をつくるための基盤を整備

いいたて　までいな復興プラン庁内検討委員会

報　告　書

避難前の村の姿

標高　220～600m
面積　230．13km²
東西　15．2km
南北　16．8km
人口　6，209人
世帯数1，733世帯
一世帯当たり人口　3．58人
高齢化率　30．0%
（以上平成 22 年度国勢調査）

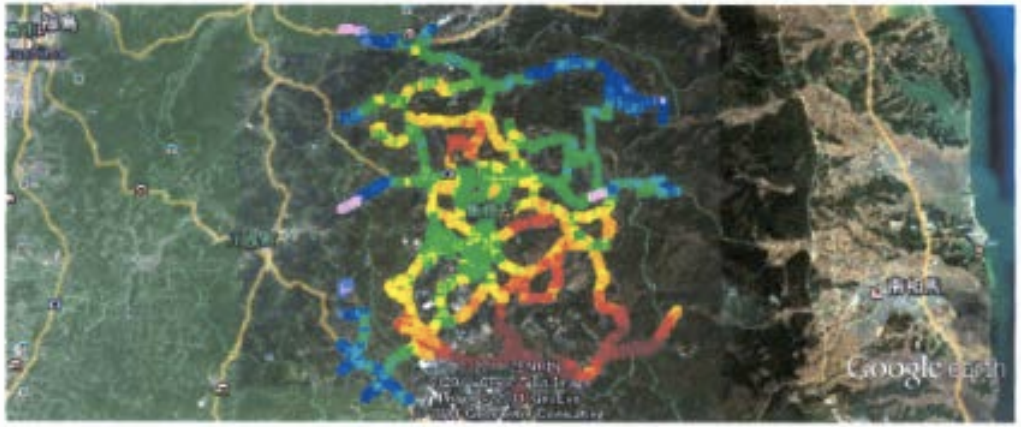
目　次

1　はじめに　・・・・・・・・・・・・・・・・・・p2
2　飯舘村の放射能汚染の状況　・・・・・・・・p4
3　村が考える復興とは　・・・・・・・・・・・p6
4　復興が目指すところ　・・・・・・・・・・・p7
5　復興の「５つの柱」と主要施策・事業　・・p7
参考資料

平成 23 年 10 月
飯　舘　村

（飯野出張所）〒960-1301　福島県福島市飯野町字後川 10 番地 2
（本庁）〒960-1892　福島県相馬郡飯舘村伊丹沢字伊丹沢 580 番地 1
電話　024-562-4200（出張所）　0244-42-1611（本庁）
FAX　024-562-2466（出張所）　0244-42-1601（本庁）
http://www.vill.iitate.fukushima.jp

線量地図



iitate.kmz

1.82 μ Sv/h

08-02-2011
09:20:42

1.67 μ Sv/h

08-02-2011
09:20:43

【別添1】 「ふるさとへの帰還に向けた取組」
ー 農地土壌除染技術開発 実証試験概要 ー

放射性セシウム濃度は、土壌中のセシウム134濃度とセシウム137濃度の合計（Bq/kg、乾土）

○その他の地域での実証試験
反転耕（天地返し）
（水田）
本宮市：面積：28 a
放射性セシウム濃度：
4,100 Bq/kg

10/3現在の比較の水田地（表土の削り取）実施 …… まだ結果出ず

飯舘村除染計画

飯舘村除染計画の概要

○計画的避難区域については、国が除染を実施するとしているが、飯舘村は国、県と連携して、家屋等の住環境、農地及び森林について計画的・段階的に除染を進めていく。
○村内の除染により発生した放射性廃棄物は、国が設置する中間貯蔵施設及び最終処分施設に移送する前に、村内の国有林に仮置きすることで調整中。
○本計画は、除染や医療等の専門家の助言や除染の実施状況等を踏まえ、随時、改訂しながら取り組む。

➢計画期間
（１）住環境については、今年度から２年程度とする。
（２）農地については、今年度から５年程度とする。
（３）森林については、今年度から20年程度とする。

➢除染推進体制
・国、県、村とが一体となり、村民等も参画した除染を実施。
・村内企業、振興公社、森林組合等からなる組織を設立し、除染作業の管理・受託等を実施。

➢除染費総額（概算）
・3,224億円（宅地等：143億円、農地等：851億円、森林等：368億円、放射性物質管理費：1,362億円、その他：500億円）

住環境における除染

家屋（居久根含む）、公共施設、事業所等を対象に除染を実施。

試験除染の実施・モニタリング調査（9月～11月）
→ 除染工程表の策定（～平成24年1月）
→ 除染リーダー育成（平成24年1月～3月）
→ 除染作業の実施（平成24年1月～24年度）

【段階的除染目標】
長期的な目標である年間追加被ばく線量1mSv以下

農地における除染

農地（約2,700ha）を対象に5年程度で年間550ha以上の土地改良等による除染を実施。

草刈り（9月～10月）
→ 土壌、地下水位調査（10月～12月）
→ 除染工程表の策定（～平成24年1月）
→ 除染作業の実施（平成24年1月～28年度までの約5年間）

農作物試験栽培（8月～11月）
→ モニタリング調査（9月～）

【段階的除染目標】
米の予備調査の対象基準となる土壌中放射性セシウム濃度1,000Bq/kg以下

森林における除染

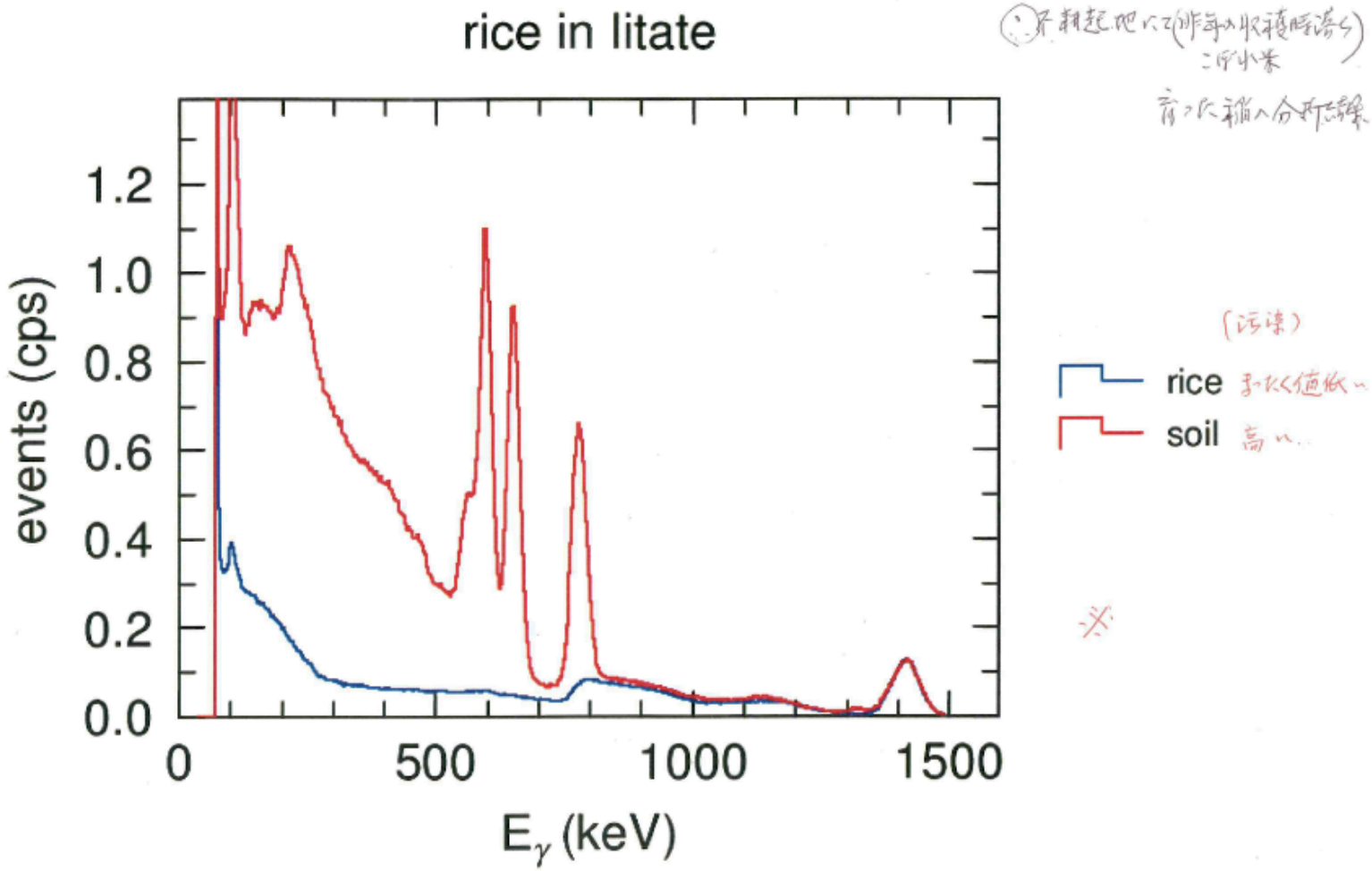
森林（約19,000ha）を対象に、里山等を優先し、20年程度で年間950haの除染を実施。

試験除染の実施・モニタリング調査（9月～11月）
→ 除染工程表の策定（～平成24年1月）
→ 除染作業の実施（平成24年1月から段階的に実施）

【段階的除染目標】
食料生産地：放射性セシウム濃度1,000Bq/kg以下、緩衝地帯：年間追加線量1mSv以下

佐須地区の自生米およびその土壌の放射能測定

速報　飯館村の自生米およびその土壌の放射能2011/10/29 再生の会 (岩瀬)



若者の力、シニアの経験を世界の被災地「ふくしま」へ

ふくしま再生の会

「ふくしま再生の会」
〒113-0021
東京都文京区本駒込1-1-17
キュラーズ本駒込９階
遊域計画(株)内
TEL:03-3823-5191
FAX:03-3823-5894
desk@fukushima-saisei.jp

＜資料＞

各種の資料

- 「ふくしま再生の会」パンフレット(2011.10.26版 PDF 1.1MB)
- 自然と生活の再生に集う「ふくしま再生の会」活動状況(2011.09.05版 PDF 1.6MB)
- 自然と生活の再生に集う「ふくしま再生の会」活動状況(2011.10.04版 PDF 6.2MB)
- 飯舘村空間線量分布(2011.08版 PDF 10MB)
- 飯舘村広葉樹林除染実験レポート(2011.10.15-16 PDF 1.8MB)

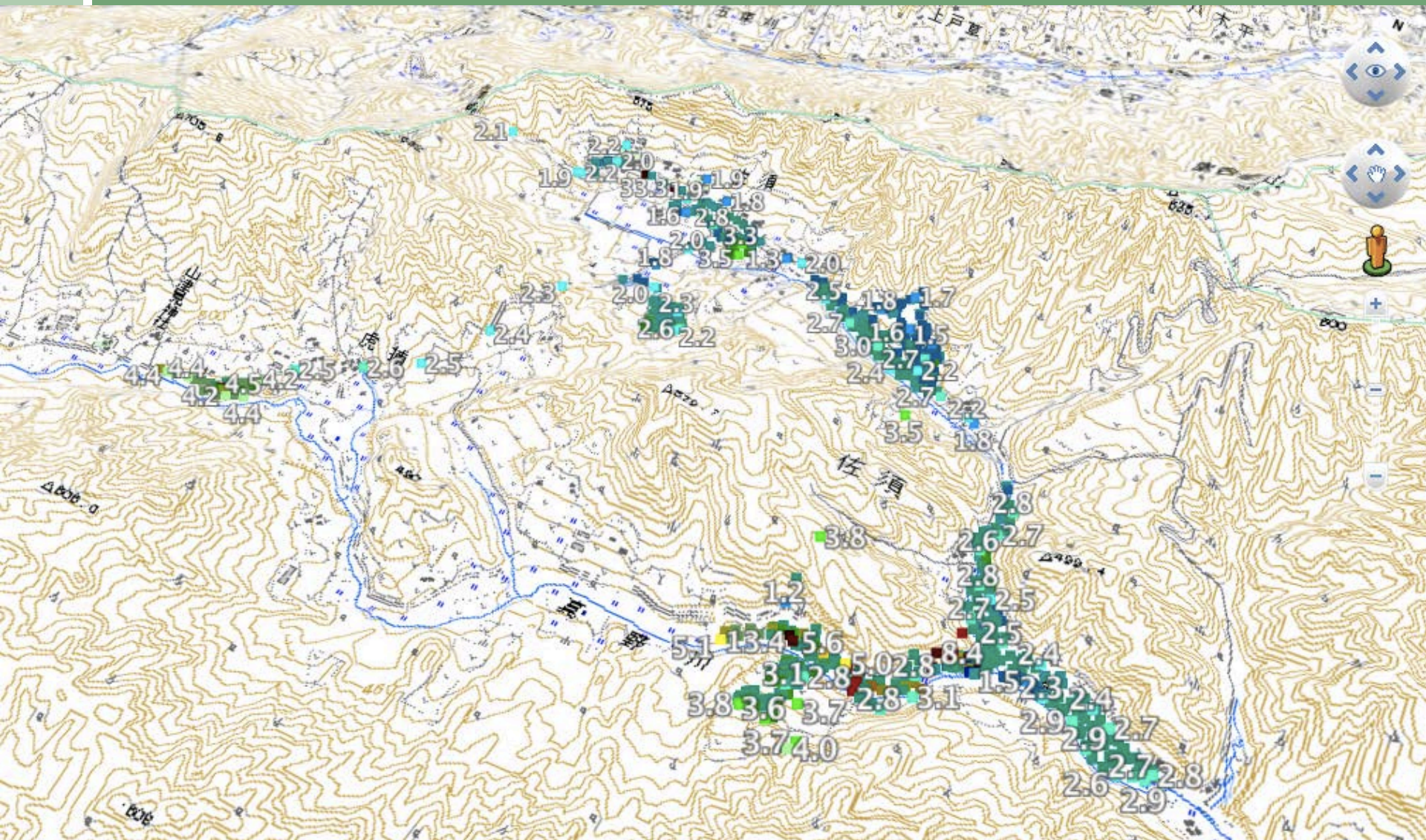
Copyright © 2011 ふくしま再生の会 All Rights Reserved

自衛隊による除染

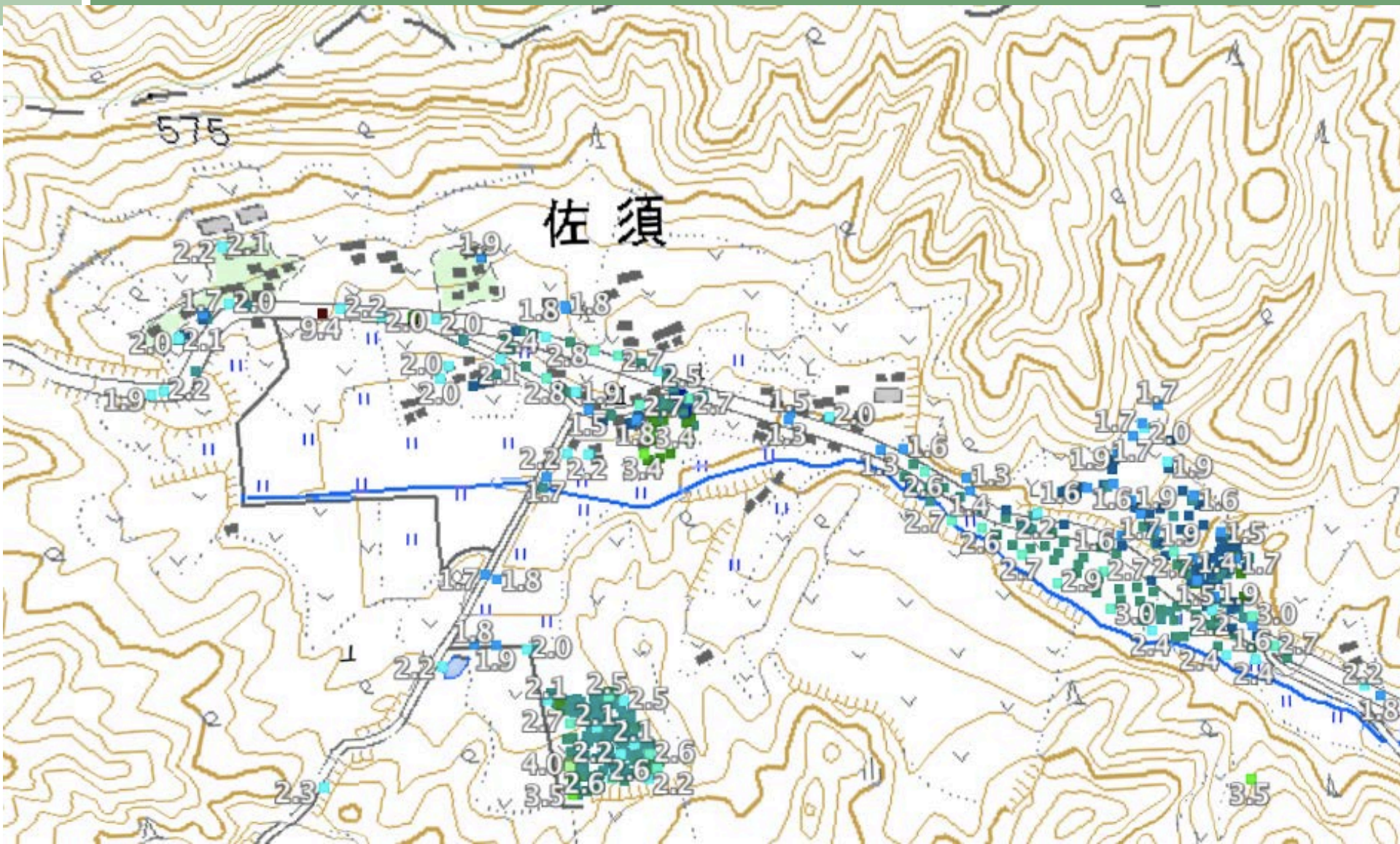
役場の線量分布

2.8
3.1
3.1
2.4
2.1
1.5
2.5
2.5
飯舘村
2.6
3.7
2.6
2.4
2.8
2.8
3.0
2.3
0.31
0.29
2.6
0.33
3.0
3.0
2.8
2.7
2.5
2.8
3.2
2.9
2.9
3.6
0.34
2.5
2.8
2.2

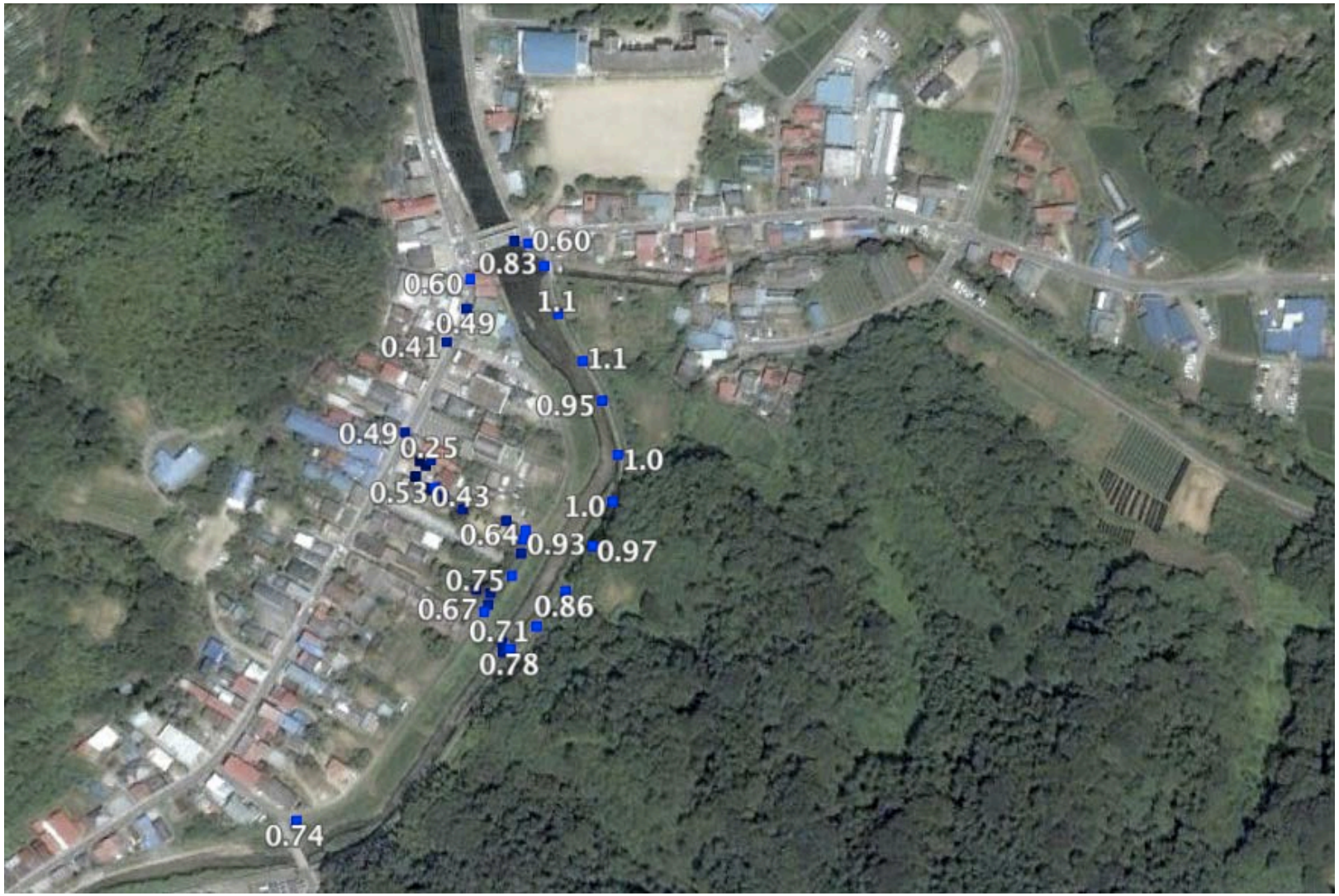
佐須の線量測定



佐須　公民館周辺



月館の線量測定


0.60
0.83
0.60
1.1
0.49
0.41
1.1
0.95
0.49
0.25
1.0
0.53
0.43
1.0
0.64
0.93
0.97
0.75
0.67
0.86
0.71
0.78
0.74

今、私たちにできること　やらなければならないことは

- 風化させてはならない原発事故
- 国民に温度差が生じている　共通認識を！
- 原発事故は人災である　責任の所在確認と検証を！
- エネルギー政策と原発
- 自然と科学　地球の恵みと生きがいのある人間社会

ご清聴ありがとうございました